

第5回懇談会の主な意見等及びまとめ

【第5回懇談会 校舎配置・平面概略図(案)】

＜配置・平面案に関する共通する意見・視点等＞

- 善福寺川緑地側の道路はガードレールが整備されている。メインの出入り口が善福寺川緑地側にある方が登下校の際、安全である。
- 消火訓練を行う場合の車の出入りの場所や門の広さを考慮したに計画してほしい。
- AHP分析の手法を取るなど、評価項目に重みをつけて評価をするなどの方法をとるべきではないか。
- 災害備蓄倉庫の位置が、三年坂の下にある。大雨の際、浸水する可能性があるので、高い位置に設置するか、嵩上げをするなどの対応が必要ではないか。
- 体育館は、地域に夜間も開放するため、音の問題が生じる。民家と離れた位置に設置する方がよい。
- 給食室は、車の出入りがあるため、児童の登下校と外れた位置の方が安全である。
- 現在、給食は各教室の前までワゴンを持っていく。異物混入を防ぐため、職員が常駐して見守っている。安全性を確保するため、給食室は、教室への動線を考慮してほしい。
- 善福寺川緑地側にビオトープを設置するのであれば、公園へのアプローチも含めて検討してほしい。
- ビオトープと畑や田んぼを配置する際には、在来種や外来種などのことを考慮してほしい。

＜A'案について＞

- 校庭の面積が最も広く確保できる。
- この土地の自然条件、周辺とのつながりをよく考慮している。
- 工事期間中、北校舎と体育館を使用できる。
- 工期が短く、コストが抑えられている。
- 北側の住宅への騒音や砂ぼこり、校庭に落ちる日陰の問題への対応が必要。

＜C案について＞

- 校庭の日当たりがよい。校庭を広くできないか。⇒緑化等の関係で厳しい。
- 工事期間が最も長いことや既存校舎と仮設校舎の距離が長いことなど、児童への負担が多いのではないか。

＜D案＞

- 主な昇降口が鎌倉街道側であり、安全面で課題がある。

＜まとめ＞

北側の住宅への音や砂ぼこり、校庭に落ちる日陰への対応が必要であるが、校庭が広く取れること、工事期間中も既存の北校舎は体育館が使用できること、工期が短く、整備コストも抑えられること、土地の自然条件や周辺とのつながりを考慮していることなど、総合的に優れていることから、A'案を懇談会の配置案とする。